

平成29(2017)年度事業報告書

社会福祉法人シャローム福祉会
指定就労継続支援B型事業所 シャローム

平成28年度から社会福祉法人制度改革への対応が始まり、平成29年度は法人としての体制を新しくするところから始まりました。後半は、年度末に管理者が退任することが明らかになり、新しい職員体制をつくることに向かいました。

1. 重点課題

(1) 地域とより良い関係を築く運営のあり方の検討

事業所所在地の自治会等の活動には可能なかぎり参加するようにし、顔のわかる関係をつくるよう努めました。「シャローム」と「シャロームに通う利用者」をより多くの地域の方々に知っていただけるよう、また、知的障害をもつ当事者の方々のことを理解していただけるような活動・運営のあり方を、今後も検討していきます。

(2) グループホーム建設のための資金調達と人材確保

家族が中心になってつくられた「グループホームしゃろーむ建設準備会」が寄付を呼びかけ、目標額の半分以上が集まりました。建設資金について、福祉医療機構に融資相談を申込みましたが、まずは建築見積額を明確にするよう指摘されました。

(3) ホームページによる法人の情報公開

平成28年度事業報告書及び財務諸表、定款、役員等の報酬規程をホームページに掲載しました。また、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムへのリンク先を表示し、平成28年度社会福祉法人現況報告書および財務諸表を閲覧できるようにしています。

(4) 新しい利用者の受入

- ・週2日、主に3名の職員が交代でマンツーマンで作業や生活面を支援しています。
- ・当初は、職員が視覚障害のある知的障害者とのコミュニケーションに慣れることと、利用者が新しい環境に慣れることを目標に、職員との安定した関係をつくるようにしました。
- ・半年が経過する頃には、シャロームでの活動に慣れてきていて、他の利用者と一緒に行動する場面も増えてきています。

(5) 二つ目の土地の利用計画と「六番町」のあり方の見直し

平成28年度に取得した二つ目の土地は、次の園芸作業の場にするを目標に整地作業を続けています。

平成30年度に管理者が変わることが明らかになった下半期は、「六番町」の職員体制・利用者の分担を考えるとところから見直しました。実際の変更は平成30年度からになります。

(6) 日々の活動のPR

シャロームだより60号を8月に、61号を12月に発行しました。ブログは遅れがちながらも、少しずつ更新しています。

2. 法人の活動

(1) 理事会の開催

- ・第43回（平成29年6月3日）では、平成28年度事業報告および決算報告、定款変更、役員等費用弁償費、就業規則の変更について議決され、新しい法人制度に基づいた理事・監事が推薦されました。
- ・第44回（平成29年6月17日）では、評議員会で決定された理事の中から理事長を選定しました。
- ・第45回（平成29年11月11日）では、平成29年度上半期事業報告および中間決算報告、平成29年度第1次補正予算、グループホーム建設の進捗状況、管理者交代に伴う職員体制の変更等について話し合わせ、理事長の職務の執行の状況が報告されました。
- ・第46回（平成30年3月3日）では、平成29年度第2次補正予算、平成30年度事業計画および当初予算、理事長専決事項、管理者の任免等が議決されました。

(2) 評議員会の開催

- ・第42回（平成29年6月17日）では、理事・監事の選任、平成28年度事業報告および決算報告、役員等費用弁償費、定款変更、就業規則の変更について承認され、平成29年度事業計画および当初予算が報告されました。
- ・第43回（平成30年3月23日）では、平成29年度第2次補正予算、平成30年度事業計画および当初予算について承認されました。

(3) 監事監査の実施

- ・監事監査が5月24日にありました。
- ・1月31日、田島康啓監事に監事研修を受講していただきました。

(4) 苦情解決

- ・今年度、第三者委員への直接の苦情や相談はなく、苦情受付担当者への苦情も特にありませんでした。
- ・第三者委員2名のうち1名が変わりました。

3. 事業所の活動

(1) 利用者数

- ・4月は登録者数14名。
- ・うち1名は他の日中活動の事業所と併用し、シャロームを週2日利用しています。
- ・平成28年度は一週おきにショートステイしていた利用者の家庭の状況が変わりました。上半期はショートステイの日数を増やすことで家族が対応していましたが、10月から障害者支援施設に入所しました。帰省にあわせて週2日、シャロームを利用しています。
- ・旅行など、数日から数週間まとめて休む利用者が増える傾向がありますが、さらに、病気入院する利用者が複数名いたため、特に平成29年度の下半期は利用者数が減りました。

		開所日数	平均利用者数	在籍利用率
平成26(2014)年度	4月～9月	121日	12.2名	87.0%
	10月～3月	120日	11.8名	90.7%
	年間	241日	12.0名	88.9%
平成27(2015)年度	4月～9月	120日	12.2名	91.7%
	10月～3月	120日	12.0名	86.7%
	年間	240日	12.1名	88.6%
平成28(2016)年度	4月～9月	120日	11.7名	83.1%
	10月～3月	118日	11.1名	85.4%
	年間	238日	11.4名	84.4%
平成29(2017)年度	4月～9月	119日	11.8名	84.3%
	10月～3月	119日	10.7名	76.1%
	年間	238日	11.2名	79.8%

(2) 開所日・開所時間

- ・月曜から金曜の午前9時30分から午後4時がサービス提供時間。
- ・第2水曜は自治会のあと午後2時解散、第4水曜は午後1時解散。
- ・夏季休暇と冬季休暇は9日間ずつ取りました。夏は、初めに2泊3日の宿泊訓練、最終日に自治会主催のレクリエーションを行い、冬は、初日に自治会主催のレクリエーションを行いました。

(3) 職員体制・勤務体制

職員体制は、常勤職員3名（管理者1名、サービス管理責任者1名、職業指導員1名）、非常勤職員3名（生活支援員2名、事務職員1名）で、必要に応じて非常勤職員の勤務日を増やしました。

(4) 利用者支援

1. 日課

9:00～ 9:30	準備・記録	13:00～	作業・体操
9:30～	作業・さんぽ	15:00～	お茶・記録
12:00～	昼食・昼休み	15:30～16:00	そうじ・着がえ

2. 生産活動

- ①自主製品の制作：紙漉き、ビーズ小物、ハーブを使った香り玉・におい袋
- ②園芸活動
- ③印刷・製本・発送作業
- ④チラシの糊付け・紙折り
- ⑤自主製品等販売

- ・「三角くじ」は半年間の休止した後、再開され、4月から「チラシの糊付け／折り」の作業が入りました。

3. 工賃支給

- ・4～6月分の工賃を7月に、7～9月分を10月に、10～12月分を12月に、1～3月分を3月に支給しました。
- ・「休まず出勤すれば月額3,000円以上の工賃」になるように分配しました。

		最高	最低	平均 (1ヶ月)	平均 (1年)
平成26 (2014) 年度	4月～6月分	15,090	2,670	3,412	3,140
	7月～9月分	9,220	2,270	2,182	
	10月～12月分	13,790	2,940	3,113	
	1月～3月分	16,300	4,350	3,702	
平成27 (2015) 年度	4月～6月分	13,760	2,350	3,048	3,102
	7月～9月分	14,732	3,424	3,552	
	10月～12月分	11,600	3,320	2,892	
	1月～3月分	12,150	2,550	2,986	
平成28 (2016) 年度	4月～6月分	11,150	2,720	2,757	3,295
	7月～9月分	13,160	3,560	3,251	
	10月～12月分	10,810	4,640	3,061	
	1月～3月分	17,100	4,880	4,111	
平成29 (2017) 年度	4月～6月分	11,540	2,450	2,766	3,054
	7月～9月分	15,000	3,150	3,285	
	10月～12月分	10,730	3,080	2,575	
	1月～3月分	19,250	1,790	3,588	

4. 健康診断

- ・2月15日に健康ライフプラザで希望者7名、別の日に1名が健康診断を受けました。
- ・他の医療機関で受診した2名は診断書を出してもらいました。

5. 避難訓練

- ・避難訓練を行いました。7/20（六番町）、9/1（五番町）、11/1（六番町）。
- ・1/17、神戸市一斉シェイクアウト訓練に参加。雨天のため避難訓練は中止しましたが、家族との連絡訓練は予定どおり行いました。

6. 販売活動

日付	イベント	主催等	場所	参加者
7/8(土)	SO神戸 ふれあい夏祭り	スペシャルオリン ピックス日本・兵 庫神戸	西神南駅前星の 広場	利用者7名 笹倉、玉井
11/5(日)	一七市拡大版	一七市拡大版実行 委員会	新長田・鉄人広 場	利用者2名 井筒
3/1(木)	ひと・まち出会い フェスティバル	長田公民館	長田公民館	
3/21 (水・祝)	みらいおもいけ フェスタ	みらいおもいけ園	みらいおもいけ 園	利用者6名 笹倉、笹倉正

7. 所外の活動

日付	イベント	主催等	場所	参加者
5/7(日)	リズム体操	NPO法人おーけす とら・ぴっと	ふたば学舎 神戸市長田区	利用者1名 玉井
5/20(土)	第4回知的障害者によるアン クルン演奏会	NPO法人プレゼン ト・ガーデンズ	神戸文化ホー ル	利用者1名 玉井
6/7(水)	所外学習・須磨水族園	シャローム		利用者11名 職員4名
7/2(日)	リズム体操教室	NPO法人おーけす とら・ぴっと	ふたば学舎 神戸市長田区	利用者1名 玉井
8/3(木)	西神戸教会こどもの教会交流 会	こどもの教会	西神戸教会 神戸市垂水区	利用者9名 職員5名
8/8(火) ～8/10 (木)	宿泊体験(2泊3日)	シャローム	西脇市	利用者6名 笹倉、玉井 笹倉正
8/17(木)	夏休みのレクリエーション・ カラオケ大会	シャローム自治会	新長田	利用者9名 笹倉、玉井 笹倉正
10/13 (金)	戒labolatlyと風呂ペラ	NPO法人ライフス ペース・プロペラ	新長田	利用者2名 玉井、笹倉正
10/19 (木)	障害者虐待防止法を考える	長田区自立支援協 議会・まなぶ部会	長田育成会館	利用者2名 井筒
11/2(木)	日帰り旅行①姫路城	シャローム	姫路城	利用者3名 職員2名
11/15 (水)	日帰り旅行②吉本新喜劇	シャローム	よしもと西梅 田劇場	利用者6名 玉井、笹倉正 Vo1名
11/30 (木)	日帰り旅行③あべのハルカ ス・新世界・通天閣	シャローム	天王寺	利用者2名 笹倉、玉井
12/21 (木)	クリスマス会	シャローム	県民会館7階	利用者12名 他合計33名
12/27 (水)	冬休みのレクリエーション・ カラオケ大会	シャローム自治会	新長田	利用者8名 玉井、笹倉正
3/10(土)	第16回駒ヶ林いかなごウオー クラリー	駒ヶ林まちづくり 協議会／ふたば学 舎	ふたば学舎～ 駒ヶ林公園	利用者1名 井筒

12/1(金)	中堅職員対象 経営管理・組織論研修	市民福祉大学	こうべ市民 福祉交流セ ンター	玉井
2/17(土)	シンポジウム・利用者からみ た成年後見制度～どう守る？ 「本人」の権利～	神戸シルバー法律 研究会・第三者後 見ネットワーク連 絡会	たちばな職 員研修セン ター	玉井
2/28(水)	中堅職員研修・障がい者の意 思決定支援について～基本的 な考え方と権利擁護の視点か ら～	市民福祉大学	こうべ市民 福祉交流セ ンター	笹倉、玉井

自主研修

日付	研修内容	主催等	場所	参加者
6/4(土)	全国集会in京都「誰も取り残さないイン クルーシブな社会へ」	DPI日本会議	ホテルルビノ 堀川京都	笹倉
7/7(金)	道筋を何度も作ることー7.26殺傷事件後 (講師：立岩真也氏)	NPO法人 京都自由大学 ・一般講座	京都自由大学	笹倉
7/14(金)	安楽死・尊厳死論の系譜と相模原障害者 殺傷事件(講師：大谷いづみ氏)			笹倉
7/21(金)	亡くなられた方々は、なぜ地域社会で生 き続けることができなかつたのだろうか？ (講師：渡邊琢氏)			笹倉
7/28(金)	男性と暴力ー相模原事件によせて (講師：伊藤公雄氏)			笹倉
7/24(月)	累犯障害者支援基金シンポの記録(2012年 7月)から	輪読会	シャローム	職員 4名
7/31(月)	長崎モデルの明暗。障害者虐待と累犯障 害者支援についての記事(2015年7月)か ら。	輪読会	シャローム	職員 4名
8/21(月)	「熊谷晋一郎インタビュー・自立は、依 存先を増やすこと」から	輪読会	シャローム	職員 4名
11/18(土)	トークライブ「意思と介入」荻上チキ 氏・立岩真也氏・岸政彦氏	立命館大学大 学院先端総合 学術研究科	立命館大学	笹倉
2/3(土)	土曜講座「障害者運動と法制度の現在」 尾上浩二氏	立命館大学 生存学研究セ ンター	立命館大学	笹倉
2/17(土)	土曜講座「障害女性の生きづらさに向か い合う」河口尚子氏	立命館大学生 存学研究セン ター	立命館大学	笹倉

(2) 健康診断

- ・常勤職員2名・非常勤職員1名は、各自で受診しました。

5. 地域交流

- ・長田ボランティアセンター（子どもいちば、一七市拡大版等）
- ・子どもいちば関係者連絡会
- ・長田区自立支援協議会
- ・地域ケア会議
- ・一七市拡大版実行委員会
- ・長田区自立支援協議会・防災プロジェクト
- ・ゆうあい
- ・五番町一丁目自治会

6. 設備・備品

- ・六番町の害虫駆除と防除作業、サンコウ消毒、8/25(金)・3/9(金)
- ・五番町の2階台所奥の蛍光灯をLED電灯に取替、アイレックス兵庫、1/15(月)

7. その他

- ・保護者会：6/30、9/26
- ・自転車の高校生と利用者が接触事故（6月）。
- ・利用者が近所の店でトラブルを起こす（7月）。
- ・東芝三菱電機産業システムより電気ポットの寄贈（12月）